

教科名		英語	科目名	自選英語総合A	履修学年	高校	3 年	選択者	組	
単位数		2 単位	使用教科書 補助教材等		自作プリント					
担当者		疋田 康之								
学習目標		洗濯した生徒の志望校に合わせ、大学の過去問題を解かせていき、大学入試に対応できる思考力を養成する。								
評価方法										
評価観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢		
評価規準		入試問題/長文、英作文、リスニングに必須な語彙・文法項目の定着の迅速な完成を目指す。			獲得した英語の力を総動員して、長文に取り組み、筆者は何を訴えたいのか、読み解く。それを解答用紙に表現する。			外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
各観点の授業内 評価方法等		授業内での活動、小テスト			授業内での活動、小テスト			授業内での活動、小テスト		
学期末の 各観点比率(%)		40%			40%			20%		
授業計画										
学 期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時 間 数	評 価 区 分 1	評 価 区 分 2
1	4	取り扱い予定大学 東京、お茶の水、東京工業（現東京科学） 早稲田、慶応義塾、上智 東京外国語、一ツ橋								
	5									
	6									
	7									
	8									
2	9	国際基督教、京都、北海道 東北、名古屋 大阪、九州 ※授業は1 0 月の中間考査前まで。それ以降は講習会というスタイルになる。								
	10									
	11									
	12									
3	1									
	2									
	3									

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	履修学年	高校	3 年	全 組
単位数	4	使用教科書 補助教材等	Praxis Level 2(Z-KAI), 大学入試レベル別英語長文問題集THE LEVELS 2(旺文社)				
担当者	柴山 足田		Listening ACE 10 Upgraded(美誠社), 共通テストドリル英語リーディング10minutes 大学入試共通テスト 対策Reach40(Reading) Reach30(Listening)				
学習目標	授業の最初にListening ACE10、朝テストでリーディングドリルを継続的に行い、2 学期以降はReach40と 30において共通テスト強化対策をする。授業では、様々なテーマの英語を読み、語彙力や背景知識を含め、本文の内容を深く 理解することを主眼とし、大学入試に対応できる実践的な読解力を養う。また、4 技能を用いた活動を取り入れ、実際のコミュニケーションやその場に応じて活用できる英語力を習得することを目指す。						
評価方法							
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢		
評価規準	・ 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・ コミュニケーションを行う 目的や場面に 応じ、 日常的な 話題や社会的な話題について、 聞く・読む・書く・ 伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う 目的や状況などに応じて、 日常的・ 社会的な 話題につい て、 必要な情報を聞き取り、 読み取り、 要点を捉え、 また情報や考えを 論理性に注意して話したり、 書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 書き手、 読み手、 話し手、 聞き手に配慮しながら、 主体的、 自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト・ 朝テスト 授業内の言語活動		定期テスト 授業内の言語活動、グループワーク		宿題 授業内の言語活動、グループワーク 授業態度		
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%		
授業計画							
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分 1 2
1	4	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト 1～6) Praxis(Stage1 No. 1～5)				21	1 学期中間 考 査
	5	(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson1～5					
	6	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト 6～12) Praxis(Stage1 No. 6～Stage2 No. 3)				18	1 学期期 末 考 査
	7	(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson6～10					
	8						
2	9	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト 12～18) Praxis(Stage2 No. 4～Stage3 No. 1)				20	2 学期中間 考 査
	10	(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson11～15					
	11	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト 19～24) 大学入試共通テスト(リーディング)対策Reach40, 30				20	
	12						
3	1						
	2						
	3						

教科名	英語	科目名	自選英語総合B	履修学年	高校	3 年	1 ～ 9 組
単位数	2	使用教科書 補助教材等	Smart Reader(プリント)				
担当者	阿部 苗美		英文法 Engage				
学習目標	授業の最初に単語・熟語テストを行い、語彙の定着を図る。プリントで、焦点をしぼって大学の過去問題を解かせていき、内容の理解を深め、大学入試に対応できる力を養成する。						
評価方法							
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢		
評価規準	・ 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・ コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な 話題や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト・熟語テスト 授業内の言語活動		定期テスト・熟語テスト 授業内の言語活動、グループワーク		宿題・振り返りシート 授業内の言語活動、グループワーク 授業態度		
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%		
授業計画							
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1 評価区分2
1	4	プリント①(英文解釈・文法) 熟語テスト①				4	1 学期 中間 考 査
	5	プリント②(英文解釈・文法) 熟語テスト② 中間試験 プリント③(英文解釈・文法) 熟語テスト③					
	6	プリント④(英文解釈・文法) 熟語テスト④ プリント⑤(英文解釈・文法) 熟語テスト⑤ プリント⑥(英文解釈・文法) 熟語テスト⑥				8	1 学期 期 末 考 査
	7	期末試験 プリント⑦(英文解釈・文法) 熟語テスト⑦					
	8						
	2	9	プリント⑧(入試問題演習) 熟語テスト⑧ プリント⑨(入試問題演習) 熟語テスト⑨				6
10		中間試験 プリント⑩(入試問題演習) 熟語テスト⑩ プリント⑪(入試問題演習) 熟語テスト⑪					
11		プリント⑫(入試問題演習) 熟語テスト⑫ プリント⑬(入試問題演習) 熟語テスト⑬ プリント⑭(入試問題演習) 熟語テスト⑭					2 学期 期 末 考 査
12		プリント⑮(入試問題演習) 熟語テスト⑮					
3	1						
	2						
	3						

教科名		外国語	科目名	論理・表現Ⅲ	履修学年	高校	3年	1～9	組	
単位数		2単位	使用教科書 補助教材等	世界を読み解く 英語リーディング（アルク）						
担当者		柴山/濱口/阿部（苗）		大学入試共通テストリスニング対策問題集						
				英文法・語法Engage						
学習目標		英語の技能・知識のみならず、世界で起きている諸問題（環境問題・難民問題・戦争・飢餓など）についての知識を英文を通して会得し、問題解決に向けた自分の意見を協働議論を通して構築する。最終的には、医療支援、教育支援、自立支援、経済支援、平和活動のために、何ができるかを考え、具体的な形とする。同時に、入試突破に向けた読解力、英作文力を磨く。								
評価方法										
評価観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢		
評価規準		未知の素材に対する読解、聴解力が身についている。世界を取り巻く様々な社会問題についての基礎知識が身についている。			環境問題、地雷、貧困、難民、飢餓などの諸問題について、基礎知識を基に自らの意見を構築し、英語で議論したり伝えあったりできる。			世界を読み解こうとする意欲 意見を持ち、仲間との議論に積極的に取り組む		
各観点の授業内 評価方法等		定期考査			定期考査 パフォーマンステスト			パフォーマンステスト		
学期末の 各観点比率(%)		40%			40%			20%		
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	UNIT1 エコ商品 UNIT2 エコカー UNIT3 企業の環境意識			UNIT4 エコ改築 UNIT5 絶滅危惧種の保護 ☆毎時間、背景知識の確認、英文読解、英語での議論を行う			10	中間考査	パフォーマンステスト①
	5	UNIT6 エコツーリズム ディベート「エコツアーに賛成？反対？」 UNIT7 環境問題と南北問題								
	6	UNIT8 地雷のある世界 UNIT9 難民のいる世界 ディベート「日本は難民を積極的に受け入れるべきか」			UNIT10 飢餓のある世界 ディベート「先進国の人々は牛肉を食べるのを控えるべきか」 UNIT11 格差のある社会			12	期末考査	パフォーマンステスト②
	7	パフォーマンステスト トリオディスカッション あるいは環境サミット”Eco-friendly Japan”発表								
	8									
2	9	UNIT12 医療支援 UNIT13 経済支援 UNIT14 教育支援			UNIT15 自立支援 UNIT16 平和への祈り 発表活動			9	学年末考査	パフォーマンステスト③
	10	パフォーマンステスト トリオディスカッション 大学入試共通テストリスニング対策問題集や英文法Engageを適宜使用する。								
	11							12		
	12									
3	1									
	2									
	3									